

ジャンボタニシによる被害を防ぐために

被害防止は複数の対策の組み合わせが有効です

◆◆ 冬季の対策 ◆◆

ロータリー耕うんで
ジャンボタニシを破砕

または厳寒期の寒風に
さらして凍死させる!



point

ロータリーの回転は速く、トラクターの走行速度は遅くすることで、破砕力が高まります。

point

未発生ほ場への貝の持ち込みを防止するため、ほ場を移動する際は、トラクター等についた土を洗い流してください。

- ▶ ジャンボタニシ（スミリゴガイ）は寒さに弱く14℃以下で活動を停止し休眠。0℃では20～25日、-3℃では3日で死に至る。
- ▶ 乾燥には強く、水が無くても半年以上は生存可能。
- ▶ 越冬場所は、ほ場や用排水路の土の中。地表から深さ6cm以内の場所で越冬していることが多い。

⇒ 冬季の水路の泥上げも越冬個体減少に効果あり。

◆◆ 春～秋(ジャンボタニシの活動期)に行う対策 ◆◆

- ・ 水口にネット等を設置し侵入を防止
- ・ 卵塊・成貝の駆除
- ・ 薬剤散布
- ・ 浅水管理による摂食行動抑制



【問い合わせ先】

県南農林事務所

振興・環境室農業振興課

電話(029)822-7086

FAX(029)822-7345

経営・普及部門（土浦地域農業改良普及センター）

電話(029)822-8517

FAX(029)822-7370

稲敷地域農業改良普及センター

電話(029)892-2934

FAX(029)892-6684

つくば地域農業改良普及センター

電話(029)836-1109

FAX(029)836-1816